

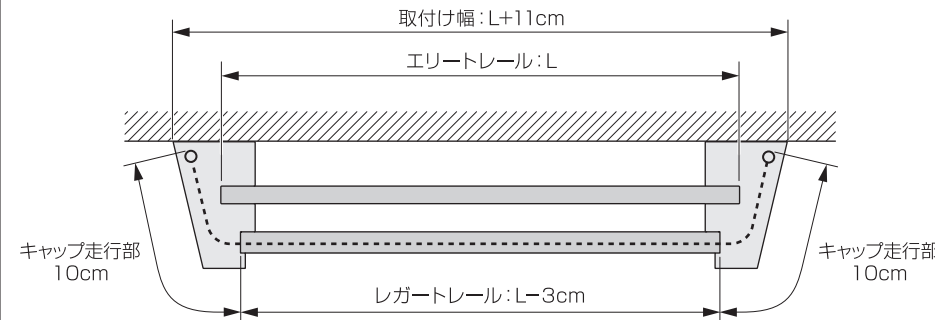
■ 取付け方法

1 レールのカット及びキャップ、ランナーの組み立て方法

＜ レールカットのご注意 ＞

※ 通常のレガートセットとレール寸法が異なります。レールをカットする場合は、下記寸法関係図に従ってカットしてください。

● 寸法関係図	カットする場合の寸法	2.00mセット	3.00mセット
エリートレール	L	200cm	300cm
レガートレール	L-3cm	197cm	297cm
取付け幅	L+11cm	211cm	311cm
キャップ走行部	20cm(左右各10cm)		



- 1 エリートレールの長さは窓幅より10～20cm長め、またレールの端からブラケットまでは10cm以内が理想的ですので、長い場合は、金ノコ等でカットしてください。

⚠ 注意

- 1 カット面に曲がりやバリがあると、カーテン操作に支障が出る恐れがあります。レールカットの際は、ご注意ください。

- 2 レールにランナー、マグネットランナーを必要数セットし、左右のメタルキャップストップRを取付けてください。

※ レガートレール固定ネジをゆるめ、締板でレール背面のツバを挟んで固定してください。

※ レールのランナーを止めてあるチューブは付けたままにしてください。

⚠ 注意

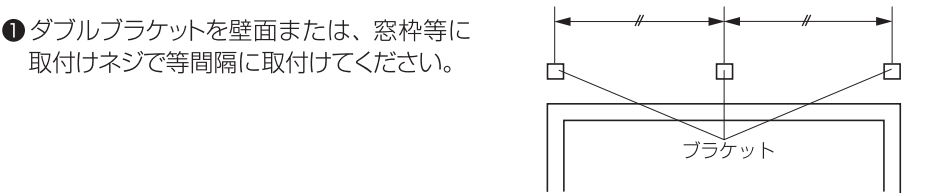
- 1 ランナー数が多いと、キャップ部のカーテン操作に支障が出る恐れがあります。必ずメタルキャップストップRのエンドリングと、ランナー、マグネットランナーを足した数は、使用するカーテンのフック数に合わせてください。

2 ブラケット、レールの取付け方法

⚠ 注意

- 1 壁面に取付ける場合は下地材を確認して取付けてください。

- 1 ダブルブラケットを壁面または、窓枠等に取付けネジで等間隔に取付けてください。



- 2 はじめにエリートレールを取付けてください。ブラケットの突起にエリートレールの溝を引っ掛け(1)、2の位置で一度レールを止め、左右レール長さを確認してください。

※ レールは仮止めの状態で、左右に動きます。

その後、エリートレールを押し上げて(3)、固定してください。

- 3 メタルキャップストップRのエリートレール固定ネジをゆるめ、金具を外し、2で取付けたエリートレールの溝に入れます。

※ 図のように固定ネジを外側(キャップ側)にして入れてください。

- 4 レガートレールを2と同様の手順で取付けて下さい。

※ 仮止めの状態で、左右のエリートレールとの間隔を均等に調整してください。片側15mmずつエリートレールが長くなります。

- 5 金具をスライドし、メタルキャップストップRに戻してから、エリートレール固定ネジを締めてください。

⚠ 注意

- 1 レールが確実に固定されたかどうか、必ず確認してください。

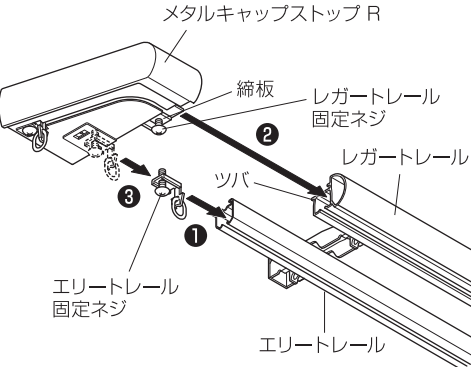
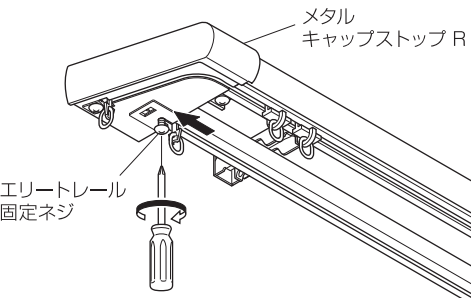
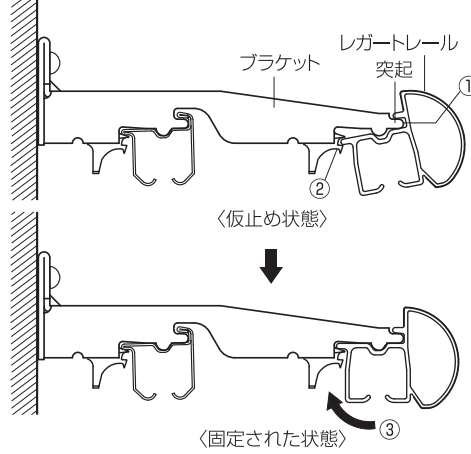
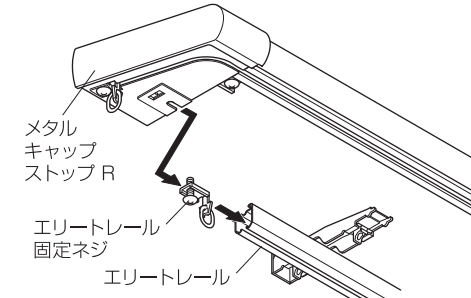
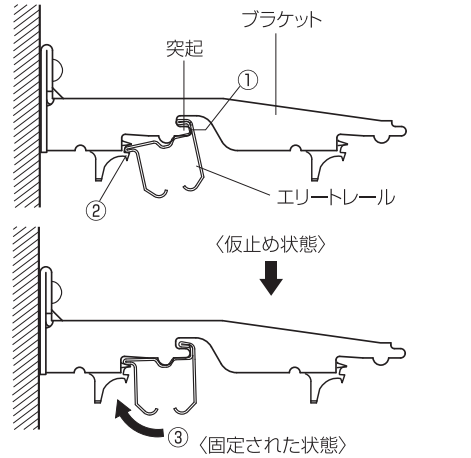
＜ブラケット、レールを組み立ててからキャップを取付ける場合＞

- 1 エリートレール固定ネジをゆるめ、金具を外し、エリートレールの溝に入れてください。

※ 図のように固定ネジを外側(キャップ側)にして入れてください。

- 2 レガートレール固定ネジをゆるめ、締板でレール背面のツバを挟んで固定してください。

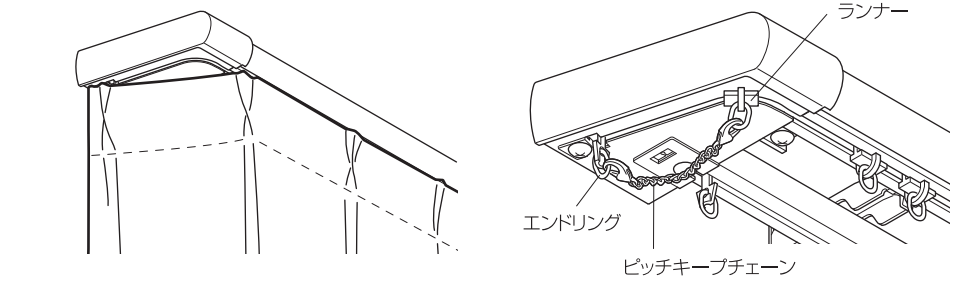
- 3 金具をスライドし、メタルキャップストップRに戻してから、エリートレール固定ネジを締めてください。



3 付属部品の取付け方法

＜ピッチキープチェーン＞

- 使用するカーテンのフック間隔によって、キャップの溝が目立つことがあります。フック間隔を一定に保つために付属のピッチキープチェーンを使って、メタルキャップストップRのエンドリングと、端から1つ目のランナーをつないでください。



＜カーテンストッパー＞

- カーテンストッパーは、カーテンを任意の位置に止めるために使用します。ドレープ側もしくはレース側のどちらかにご使用ください。

※ 取付け方法は、カーテンストッパーの取扱説明書をご確認ください。

■ 取外し方法

1 レール、ブラケットの取外し方法

- 1 エリートレール固定ネジをゆるめ、金具をスライドしてメタルキャップストップRから外してください。

- 2 レールは、ブラケットの後ろの樹脂突起(1)を後ろに押しながら(2)、手前斜め上方向に回転させ(3)、取外してください。

- 3 取付けネジを外してブラケットを取外してください。

2 キャップストップの取外し方法

- レガートレール固定ネジをゆるめ、レールからゆっくり抜き取ってください。

お手入れ方法

- シンナー等で拭いたり薬品等で洗浄しますと変色・変形の原因になりますのでご注意ください。
- 製品の汚れはきれいなやわらかい布でから拭きしてください。

梱包材の処理方法について

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。